

V-1. 環境経営目標の実績-(負荷実績)

負荷実績は、その年の生産量に比例して購入量や排出量が増減する。

目標の達成評価は、基準年度(前年度)と評価年度(対象年度)の生産高比の比較(総売上比)とした。

◎:目標達成、○:基準年度以下、△:基準年度と比べ+10%未満、×:基準年度に比べ+10%以上

環境目標項目	基準年度比	基準年度			評価年度	112%	目標削減率
	単位	2017年実績	2019年目標		2019年実績	売上高比	達成評価
二酸化炭素排出削減-省エネ	%	100%	97%		117%	105%	7.7%
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,084,566	1,052,029		1,270,922	1,135,379	△
電力使用量の削減(-3.5%)	%	100%	96%		103%	92%	-4.8%
電力購入量	kWh	1,786,428	1,723,903		1,834,576	1,638,920	◎
LPG使用量の削減(-2%)	%	100%	98%		194%	174%	75.7%
LPG購入量	kg	51,634	50,601		100,389	89,683	×
灯油使用量の削減(-2%)	%	100%	98%		81%	72%	-25.6%
灯油購入量	L	11,810	11,574		9,574	8,553	◎
ガソリン使用量の削減(-4%)	%	100%	96%		122%	109%	13.2%
ガソリン購入量	L	21,680	20,813		26,502	23,676	×
廃棄物排出量削減-3R推進	%	100%	98%		102%	91%	-6.1%
廃棄物の総排出量	t	142.3	138.8		145.7	130.2	◎
一般廃棄物の削減(-2%)	%	100%	98%		115%	102%	4.2%
ダンボール再生利用	t	96.7	94.8		110.7	98.9	△
一般廃棄物の削減(-2%)	%	100%	98%		103%	92%	-5.8%
紙・ビニール熱回収	t	15.2	14.9		15.7	14.0	◎
産業廃棄物の削減(-5%)	%	100%	95%		63%	57%	-38.5%
銅・鉄くず・他再生利用	t	30.5	29.0		19.3	17.3	◎
排水量削減-節水の徹底	%	100%	97%		86%	77%	-20.1%
水の総排水量	m ³	5,022	4,871		4,325	3,863	◎
水道水の節水(-3%)	%	100%	97%		81%	73%	-24.4%
上水排水量	m ³	1,578	1,531		1,282	1,145	◎
トイレの節水(-3%)	%	100%	97%		90%	80%	-16.6%
下水排水量	m ³	2,009	1,948		1,807	1,614	◎
工業用水の節水(-3%)	%	100%	97%		86%	77%	-20.1%
冷却水排水量	m ³	1,435	1,392		1,236	1,104	◎
化学物質の削減							
トリクレン洗浄の削減(-1%)	%	100%	99%		114%	102%	3.1%
トリクロロエチレン購入量	kg	2,030	2,010		2,320	2,073	△
グリーン購入							
調達機器・資材のグリーン調達推進 環境性能重視・リサイクル資材の採用	品目数	27	27		27	27	◎
自らが生産・提供する製品及びサービスに関する環境配慮							
廃材料(銅材)の削減(-6%)	%	100%	94%		69%	61%	-32.4%
上銅・下銅排出量	t	10.1	9.5		7.0	6.2	◎
環境CSR対応	原材料・補助副資材のRoHS規制物質の不含有の継続・REACH規則の対応等						◎
工場敷地内及び周辺清掃・ 緑化推進活動	月1回の全体清掃活動・緑化推進活動の継続						◎
職場環境改善の推進 (工場内完全禁煙)	喫煙者への禁煙要請・工場内完全禁煙化実施・非喫煙者の優先雇用						◎

※1 2018及び2019年度の生産高比は、基準年度(2017年度)100を基に算出。

※2 二酸化炭素排出係数 2015年度係数
 電力(kg-CO₂/kWh):①東京電力0.491、②中部電力0.482
 LPG3.00kg-CO₂/kg、ガソリン2.32kg-CO₂/L、灯油2.49kg-CO₂/L

作成:2020年4月27日

統括責任者	管理責任者	作成者
		

V-2.環境経営目標の実績(太陽光発電売電実績)

(1)太陽光発電システムによる自然再生エネルギーの活用(売電実績・設備償却管理)

三菱電機製 太陽光発電システムを導入し、2013年11月6日より発電(売電)開始しました。
 予定年間発電量は32,557kWh/年で、二酸化炭素削減量に換算すると-15,106kg-CO₂/年に相当します。



工場社屋に設置したソーラーパネル 北側



工場社屋に設置されたソーラーパネル 南側
(屋根塗装中)



太陽光パネルの設置場所周辺には、遮蔽物がないため、効率よく発電している



太陽光パネルの表面状態を毎月確認している(良好)

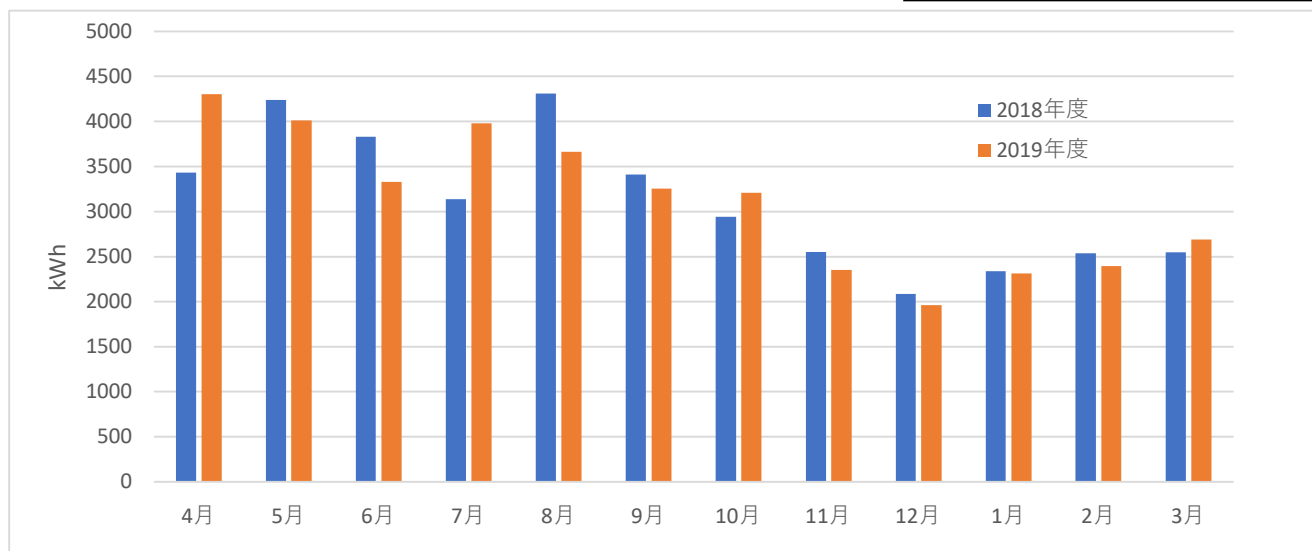
年間実績評価(月毎に、発電量(売電量と売電金額)を集計し、売電金額による設備投資の回収率を把握する。)

達成率 115.1%	設備投資回収率 85.4%	目標/年 32,557 kWh	実績/年 37,467 kWh
-------------------	----------------------	------------------------	------------------------

※設備投資回収率:2019年度3月までの売電金額の累計総額計算

2019年度 発電目標115.1%で達成! 18,584kg-CO₂相当の温室効果ガス削減!

※二酸化炭素排出係数:0.496kg-CO₂/kWhで計算

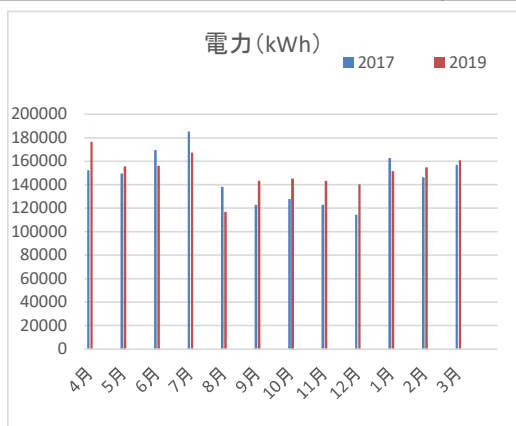


VI-1. 環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力使用量3.5%削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標(原単位)	○	下半期がうまく電気使用量を抑えることが出来なかったことが残念でした。老朽設備の更新も視野に、今後の課題にしていきたい。
・エアコンの省エネ運転の推進(±1℃、-1H) (設定温度及び運転時間の見直し・適正化)	○	
・省エネ型設生産設備の導入(増設及び老朽設備)	○	
・窒素発生装置の省エネ運転の推進	○	

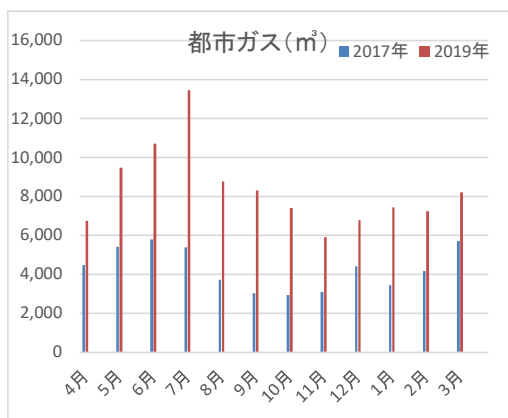


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	152,425	149,647	169,615	185,372	138,074	122,696	127,830	114,470	162,806	146,325	157,016	160,152	1,786,428
2019年	176,811	155,485	156,215	167,308	116,844	143,393	145,306	140,407	151,677	154,713	160,911	165,506	1,834,576

LPG使用量2.0%削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標(原単位)	×	1年を通してGHP完全導入によるLPG使用量が大きく増加してしまった。挽回策を実施しても減らせることが出来なかった。来期は目標を達成できるように考察する必要がある。
・最新式自動ロウ付機の導入 (フラックス分離投入式:不良削減、燃焼効率改善)	○	
・エアコンの省エネ運転の推進(±1℃、-1H) (設定温度及び運転時間の見直し・適正化)	○	

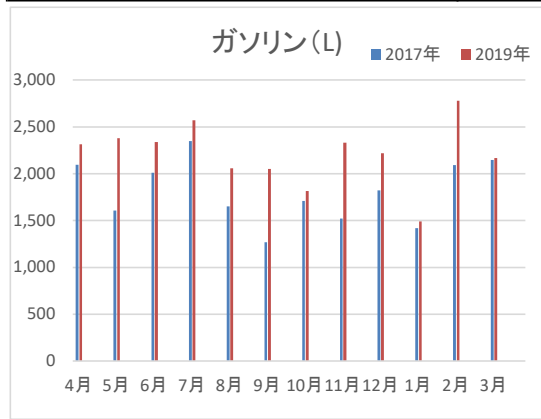


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	4,473	5,419	5,786	5,384	3,730	3,041	2,946	3,107	4,418	3,444	4,171	5,714	51,634
2019年	6,753	9,476	10,709	13,447	8,766	8,300	7,401	5,896	6,771	7,426	7,247	8,198	100,389

ガソリン使用量4.0%削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標(原単位)	×	社用車が2台増えたこともあり、年間を通して使用量が増加してしまった。引き続き啓蒙活動の推進を行うとともにエコカーの導入も視野に活動していきたい。
・社員への啓蒙活動の更なる推進	○	

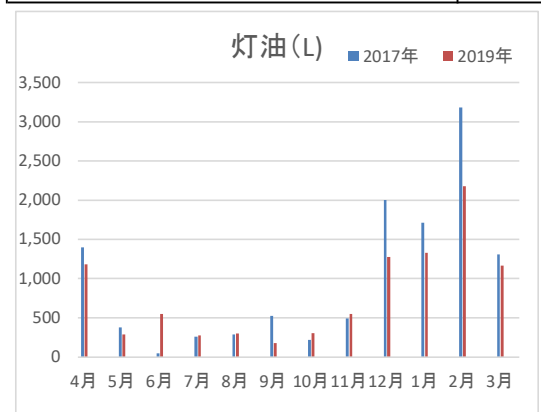


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	2,096	1,607	2,009	2,345	1,652	1,268	1,709	1,520	1,821	1,417	2,090	2,147	21,680
2019年	2,313	2,379	2,337	2,569	2,058	2,049	1,814	2,332	2,216	1,490	2,779	2,167	26,502

灯油使用量2.0%削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標(原単位)	○	GHP完全導入元年、冷夏・暖冬と気温の変動差が少ない1年だったので1年を通して目標に対して達成することが出来た。
・社員への啓蒙活動の更なる推進	○	

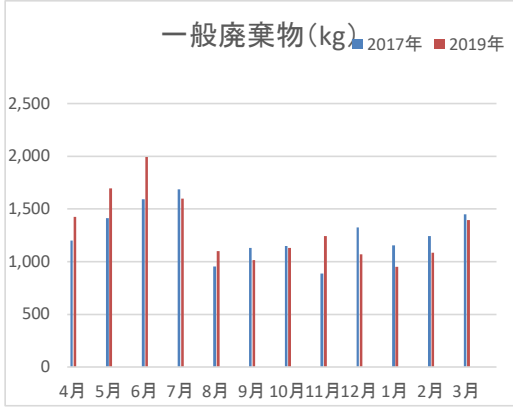


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	1,397	378	47	260	288	522	217	493	2,003	1,713	3,183	1,309	11,810
2019年	1,182	287	550	275	301	177	305	550	1,273	1,328	2,178	1,168	9,574

一般廃棄物(紙・ビニール)の削減 数値目標(原単位)	達成状況	取組結果とその評価
○	○	1年間を通して目標を達成することが出来た。引き続き、廃棄物を削減していけるように継続して活動していく。
・包装材(ビニール)の再利用(リユース)	○	
・両面コピーの推進(リユース)	○	

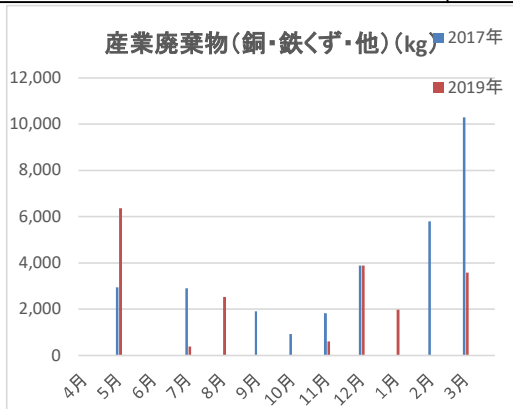


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	1,200	1,413	1,591	1,687	954	1,131	1,147	887	1,327	1,154	1,244	1,448	15,182
2019年	1,424	1,696	1,994	1,598	1,099	1,014	1,131	1,243	1,071	951	1,084	1,395	15,701

産業廃棄物(銅・鉄くず・他) 数値目標(原単位)	達成状況	取組結果とその評価
○	○	今年度は設備更新があり、まとまった廃棄が多かった。しかし、1年間を通して目標を大きく達成することが出来た。
・不用治工具の再利用(リユース)	○	
・端材の分離廃棄(リデュース)	○	
・廃棄物(設備)の再資源化(リサイクル)	○	



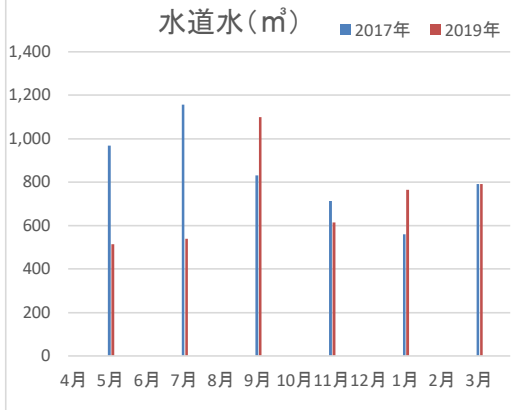
取組紹介欄



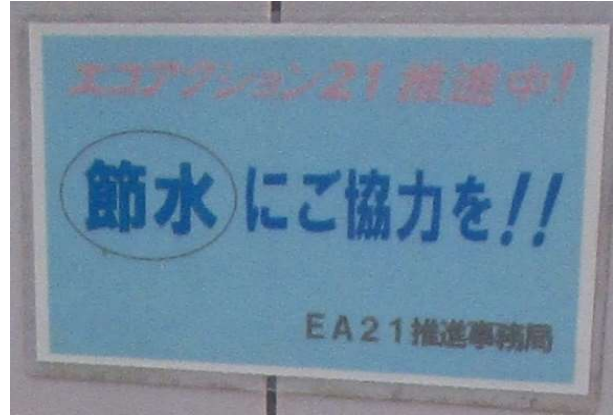
品名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
銅材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	0	2,949	0	2,910	0	1,904	920	1,830	3,885	0	5,790	10,302	30,490
2019年	0	6,355	0	380	2,528	0	0	600	3,890	1,982	0	3,585	19,320

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標(原単位)	○	1月・3月は使用量が増えて目標未達となってしまったことは残念だが、1年間を通して目標を達成できた。
・節水(節水/不凍)コマの設置	○	
・昼食時お茶提供の見直し(ヤカン給茶提供廃止)	○	
・水道栓/配管のメンテナンス実施(漏水箇所修理)	○	



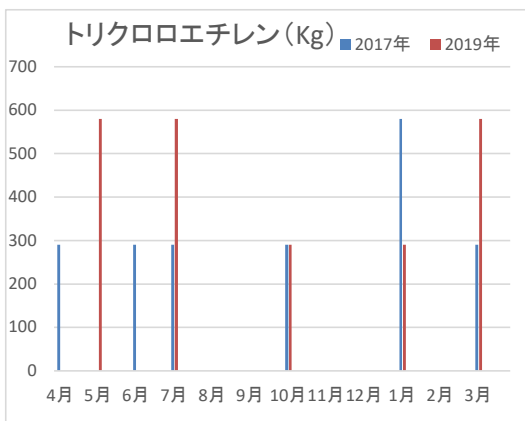
取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	0	969	0	1,156	0	832	0	714	0	560	0	791	5,022
2019年	0	515	0	540	0	1,099	0	614	0	764	0	791	4,324

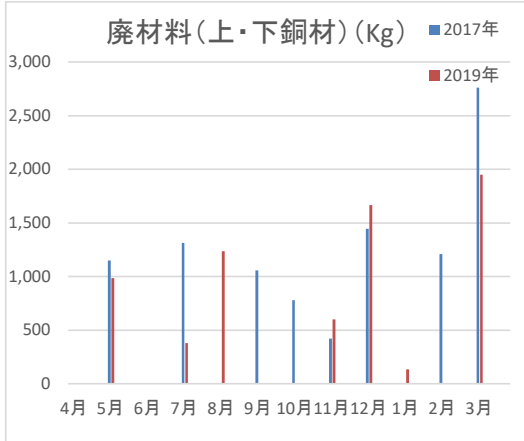
トリクロロエチレン洗浄の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標(原単位)	×	洗浄する機種が増えたこともあり、目標を達成することが出来なかった。弊社のなかでトリクロロエチレンの撤廃は1つの目標なので引き続き代替品の模索・使用量の削減に取り組んでいく。
・トリクロロエチレン完全撤廃への取	○	
・再生品購入の推進	○	

取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	290	0	290	290	0	0	290	0	0	580	0	290	2,030
2019年	0	580	0	580	0	0	290	0	0	290	0	580	2,320

社長が取り上げた環境負荷の削減	達成状況	取組結果とその評価
・在庫日数前年比15%削減	○	会社全体で環境に配慮した活動を行うことが出来た。来期も継続していく。
・端材の再利用	○	



取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年	0	1,150	0	1,315	0	1,057	780	420	1,445	0	1,210	2,760	10,137
2019年	0	985	0	380	1,235	0	0	600	1,665	137	0	1,950	6,952

環境に配慮した活動	達成状況	取組結果とその評価
・環境CSR対応	○	会社全体で環境に配慮した活動を行うことが出来た。来期も継続していく。
・工場敷地内及び周辺清掃・緑化推進活動	○	
・職場環境改善の推進(工場内完全禁煙)	○	

VI-2. 次年度環境経営活動計画

作成日: 2020年4月19日
更新日: 2020年4月20日

承認	確認	作成

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者(担当者)	スケジュール												取組評価 (計)				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
二酸化炭素排出削減 一省エネ推進	電力使用量4.5%削減 基準年度実績 1,786,428 kWh 2017年度 849,960 kg-CO2 基準年度(2017) 4.75 kWh/万円 使用する二酸化炭素排出係数: 東電0.491、中電0.482 kg-CO2/kWh	・エアコンの省エネ運転の推進(±1℃、-1H) (設定温度及び運転時間の見直し・適正化) ・省エネ型生産設備の導入(増設及び老朽設備)	工機:山本F 技術:渡辺B	フィルター清掃&点検 設定温度の見直し 運転時間の見直し 冬期使用の見直し																
	2020年度目標 基準年度比 95.5% 削減率 -4.5% 目標値 4.54 kWh/万円 2021年度目標 4.49 94.5% 2022年度目標 4.44 93.5%	【目標未達成時の挽回策】	工機:渡辺F	タイマー運転状況の確認 タイマー運転時間の見直し 装置メンテナンス タイマー運転時間の見直し 実績の評価	基準年 kWh/万円 4.60 4.32 4.27 4.59 4.93 5.86 5.49 4.82 5.03 5.49 5.02 3.80 4.75	購入量(累計) 4.60 4.46 4.39 4.45 4.52 4.67 4.75 4.76 4.79 4.85 4.87 4.75 4.75	目標(単月) 4.39 4.13 4.08 4.38 4.71 5.60 5.24 4.60 4.80 5.24 4.79 3.63 4.54	目標(累計) 4.39 4.26 4.19 4.25 4.32 4.46 4.54 4.55 4.57 4.63 4.65 4.54 4.54												
	LPG使用量3%削減 基準年度実績 51,634 kg 2017年 154,901 kg-CO2 基準年度(2017) 1.37 kg/十万円 使用する二酸化炭素排出係数: 3.00	・最新式自動ロウ付機の導入 (フラックス分離投入式:不良削減、燃焼効率改善) ・エアコンの省エネ運転の推進(±1℃、-1H) (設定温度及び運転時間の見直し・適正化)	技術:渡辺B 工機:渡辺F	最新方式の導入 品質(出来栄え)状況調査 導入エリアの確保と装置導入 導入後の稼働状況チェックと実績の評価	フィルター清掃&点検 設定温度の見直し 運転時間の見直し 冬期使用の見直し															
	2020年度目標 基準年度比 97% 削減率 -3% 目標値 1.33 kg/十万円 2021年度目標 1.32 96% 2022年度目標 1.30 95%	【目標未達成時の挽回策】	基準年 kg/十万円 1.35 1.57 1.46 1.33 1.33 1.45 1.27 1.31 1.36 1.29 1.33 1.36 1.37	購入量(累計) 1.35 1.46 1.46 1.43 1.41 1.41 1.40 1.39 1.39 1.38 1.37 1.37 1.37	目標(単月) 1.31 1.52 1.42 1.29 1.29 1.41 1.23 1.27 1.32 1.25 1.29 1.32 1.33	目標(累計) 1.31 1.42 1.42 1.39 1.37 1.37 1.36 1.35 1.35 1.34 1.33 1.33 1.33														
	灯油使用量3%削減 基準年度実績 11,810 L 2017年 29,407 kg-CO2 基準年度(2017) 3.14 L/百万円 使用する二酸化炭素排出係数: 2.49	・社員への啓蒙活動の更なる推進 (省エネ運転の推進)	生管:山田T	ポスター等を活用した啓蒙活動実施 灯油ストーブの点検実施 稼働チェックと実績の評価																
	2020年度目標 基準年度比 97% 削減率 -3% 目標値 3.05 L/百万円 2021年度目標 3.01 96% 2022年度目標 2.98 95%	【目標未達成時の挽回策】	基準年 L/百万円 4.22 1.09 0.12 0.64 1.03 2.49 0.93 2.07 6.18 6.43 10.19 3.11 3.14	購入量(累計) 4.22 2.62 1.70 1.41 1.35 1.47 1.41 1.48 2.03 2.42 3.14 3.14 3.14	目標(単月) 4.09 1.06 0.12 0.62 1.00 2.42 0.90 2.01 5.99 6.24 9.88 3.02 3.05	目標(累計) 4.09 2.54 1.65 1.37 1.31 1.43 1.37 1.44 1.97 2.35 3.05 3.05 3.05														
	ガソリン使用量5%削減 基準年度実績 21,680 L 2017年 50,299 kg-CO2 基準年度(2017) 5.76 L/百万円 使用する二酸化炭素排出係数: 2.32	・社員への啓蒙活動の更なる推進 (省エネ運転の推進)	生管:山田T	ポスター等を活用した啓蒙活動実施 社用車の定期整備の実施 稼働チェックと実績の評価																
	2020年度目標 基準年度比 95% 削減率 -5% 目標値 5.47 L/百万円 2021年度目標 5.41 94% 2022年度目標 5.36 93%	【目標未達成時の挽回策】	基準年 L/百万円 6.33 4.64 5.06 5.81 5.91 6.06 7.35 6.40 5.62 5.32 6.69 5.10 5.76	購入量(累計) 6.33 5.47 5.32 5.45 5.52 5.58 5.77 5.83 5.80 5.76 5.85 5.76 5.76	目標(単月) 6.01 4.41 4.81 5.52 5.61 5.76 6.98 6.08 5.34 5.05 6.36 4.85 5.47	目標(累計) 6.01 5.20 5.05 5.18 5.24 5.30 5.48 5.54 5.51 5.47 5.56 5.47 5.47														

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者(担当者)	スケジュール												取組評価 (計)	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
廃棄物排出量削減-3R推進	一般廃棄物(段ボール)の削減	・梱包材(段ボール)の再利用(リユース)	生管: 山田T	梱包材(段ボール)の再利用推進													
	基準年度実績 2017年 96,655 kg 基準年度(2017) 2.57 kg/十万円																
	2020年度目標 基準年度比 97% 削減率 -3% 目標値 2.49 kg/十万円	【目標未達成時の挽回策】	基準年 kg/十万円 廃棄量(累計) 2.69	2.68	2.80	2.95	2.50	2.61	2.31	2.27	2.41	2.49	2.41	2.44	2.57		
	2021年度目標 2.47 96%		目 標 (単月) 2.61	2.60	2.72	2.86	2.43	2.53	2.24	2.20	2.34	2.42	2.34	2.37	2.49		
	2022年度目標 2.44 95%		(累計) 2.61	2.61	2.65	2.71	2.66	2.65	2.60	2.56	2.54	2.52	2.51	2.49	2.49		
	一般廃棄物(紙・ビニール)の削減	・包装材(ビニール)の再利用(リユース) ・両面コピーの推進(リユース)	工機: 渡辺F 生管: 山田T	梱包材(ビニール袋)の再利用推進 両面コピー・裏紙使用の推進													
	基準年度実績 2017年 15,182 kg 基準年度(2017) 4.04 kg/百万円																
	2020年度目標 基準年度比 97% 削減率 -3% 目標値 3.92 kg/百万円	【目標未達成時の挽回策】	基準年 kg/百万円 廃棄量(累計) 3.62	4.08	4.01	4.18	3.41	5.40	4.93	3.73	4.10	4.33	3.98	3.44	4.04		
	2021年度目標 3.88 96%		目 標 (単月) 3.51	3.96	3.89	4.05	3.31	5.24	4.78	3.62	3.98	4.20	3.86	3.34	3.92		
	2022年度目標 3.84 95%		(累計) 3.51	3.74	3.79	3.87	3.77	3.93	4.03	3.99	3.99	4.00	3.99	3.92	3.92		
	産業廃棄物(銅・鉄くず・他)の削減	・不用治工具の再利用(リユース) ・端材の分離廃棄(リデュース) ・廃棄物(設備)の再資源化(リサイクル)	工機: 山本F 工機: 山本F 工機: 渡辺F	治工具再利用 分別廃棄の周知 廃却設備の洗出し&修理													
	基準年度実績 2017年 30,490 kg 基準年度(2017) 8.11 kg/百万円																
2020年度目標 基準年度比 94% 削減率 -6% 目標値 7.62 kg/百万円	【目標未達成時の挽回策】	基準年 kg/百万円 廃棄量(累計) 0.00	8.52	0.00	7.21	0.00	9.09	3.95	7.70	12.00	0.00	18.53	24.47	8.11			
2021年度目標 7.54 93%		目 標 (単月) 0.00	8.01	0.00	6.78	0.00	8.54	3.71	7.24	11.28	0.00	17.42	23.00	7.62			
2022年度目標 7.46 92%		(累計) 0.00	4.09	2.58	3.72	3.13	3.71	3.71	4.05	4.90	4.47	5.68	7.62	7.62			
排水量削減-節水の徹底	水使用量の削減	・節水(節水/不凍)コマの設置 ・昼食時お茶提供の見直し(ヤカン給茶提供廃止) ・水道栓/配管のメンテナンス実施(漏水箇所修理)	工機: 山本F 経理: 酒井T 工機: 渡辺F	節水(節水/不凍)コマの設置 昼食時お茶提供の見直し 水道栓/配管のメンテナンス実施													
	基準年度実績 2017年 5,022 m ³ 基準年度(2017) 1.34 m ³ /百万円																
	2020年度目標 基準年度比 96% 削減率 -4% 目標値 1.29 m ³ /百万円	【目標未達成時の挽回策】	基準年 m ³ /百万円 (累計) 0.00	2.80	0.00	2.86	0.00	3.97	0.00	3.00	0.00	2.10	0.00	1.88	1.34		
	2021年度目標 1.27 95%		目 標 (単月) 0.00	2.69	0.00	2.75	0.00	3.81	0.00	2.88	0.00	2.02	0.00	1.80	1.29		
2022年度目標 1.26 94%		(累計) 0.00	1.37	0.86	1.38	1.16	1.44	1.29	1.45	1.28	1.34	1.22	1.29	1.29			
化学物質の削減	トリクロロエチレン洗浄の削減	・トリクロロエチレン完全撤廃への取組み ・再生品購入の推進	製造: 下山J 製造: 下山J	代替品洗浄テスト 代替品品質確認 代替品SDS&届出確認 代替品に移行 再生品購入の推進													
	基準年度実績 2017年 2,030 Kg 基準年度(2017) 0.54 kg/百万円																
	2020年度目標 基準年度比 98% 削減率 -2% 目標値 0.53 kg/百万円	【目標未達成時の挽回策】	基準年 kg/百万円 (累計) 0.88	0.00	0.73	0.72	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	2.18	0.00	0.69	0.54		
	2021年度目標 0.53 98%		目 標 (単月) 0.86	0.00	0.72	0.71	0.00	0.00	1.23	0.00	0.00	2.14	0.00	0.68	0.53		
2022年度目標 0.52 97%		(累計) 0.86	0.42	0.53	0.58	0.48	0.43	0.52	0.47	0.41	0.56	0.51	0.53	0.53			

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者(担当者)	スケジュール												取組評価 (計)
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
自らが生産・提供する製品及びサービスに関する環境配慮	社長が取り上げた環境負荷の削減 廃材料(上・下銅材)の削減	・在庫日数前年比15%削減 (先行生産の徹底圧縮と必要性の理論的把握)	生管:山田T	製品、仕掛品、サービス部品、不動製品の適正把握(8,9,12,3月棚卸実)												
		・端材の再利用	生管:山田T	棚卸 棚卸 棚卸 棚卸												
		基準年度実績		端材再利用の推進												
		2017年 12,897 kg 基準年度(2017) 2.70 kg/百万円	基準年 kg/百万円	0.00	3.32	0.00	3.26	0.00	5.05	3.35	1.77	4.46	0.00	3.87	6.56	2.70
	2020年度目標 基準年度比 93% 削減率 -7% 目標値 2.51 kg/百万円	【目標未達成時の挽回策】	目 標 (単月)	0.00	3.09	0.00	3.03	0.00	4.70	3.12	1.65	4.15	0.00	3.60	6.10	2.51
			(累計)	0.00	1.58	1.00	1.55	1.30	1.66	1.82	1.80	2.07	1.90	2.06	2.51	2.51
	2021年度目標 2.48 92%															
	2022年度目標 2.46 91%															
	社長が取り上げた環境負荷の削減 環境に配慮した活動	・環境CSR対応	総責任:藤澤P									計画				
		・工場敷地内及び周辺清掃・緑化推進活動 ・職場環境改善の推進(工場内完全禁煙)	技術:渡辺B 技術:渡辺B	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
課題を解決しチャンスを活かす取組	・技術の継承										計画	計画	計画	計画		
	・企業PRIによる顧客獲得 ・事業拡大のための資金調達、人材確保 ・新製品・商品開発 ・働き方改革			計画	計画	計画	計画							計画	計画	
年間活動計画	環境教育 一般教育 幹部教育 特別教育	・環境方針・目標・活動計画の周知	環境事務局			計画			計画	計画		計画		計画		
		・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価	環境管理責任者			計画			計画	計画		計画		計画		
	緊急事態対応訓練 環境関連法規等の遵守評価	・資格取得・更新のため研修会参加	環境事務局					計画								
		・定期的実施(火災対応訓練9月)	環境事務局					計画								
		・遵守評価前に環境関連法規等の追加、改正を確認する	環境事務局					計画								
	代表者による全体の評価と見直し 環境経営レポート 審査申し込み 会社周辺の清掃活動	・振り返って方針・目標・活動計画等を見直す	代表者												計画	
		・作成と地域事務局への送付 ・余裕をもって2か月前には申し込む	環境事務局												計画	
	・余裕をもって2か月前には申し込む	持ち回り	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	

保管:EA21推進事務局

VII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

承認	点検日
2020.5.14	2020.5.14
点検者	点検者
	
環境管理責任者	

法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	届出等確認日	遵守状況
廃棄物処理法	* 保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板(60cmx60cm)	-	○
	* 収集運搬業者及び処分業者との委託契約	契約書	-	
	* 委託契約書の保管	5年間	-	
	* マニフェストの管理	5年間	-	
	* マニフェストの交付状況報告	年1回	2019.6.3届出	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	事業者は、その産業廃棄物の運搬又は処分を業者に委託する時は当該委託に係る施設の状況その他で定める事項を実地に確認しなければならない。 特別管理産業廃棄物管理責任者の届出	年1回以上 県への提出	(株)ホクセイ <産業廃棄物処理業者> 2020.2.28 確認 2021届出予定	○
水質汚濁防止法	* 工場廃水の水質検査	月1回 自主検査	-	○
	* 適用される排出基準の遵守	市の立入検査 県の立入検査	2020.2.7検査 2019.7.22検査	
	* 水質汚濁防止法に係る特定施設移動届出書	県への提出	2010.7.26届出	
浄化槽法	* 指定機関による11条検査の実施	年1回	2020.2申請中	△
	* 保守点検・清掃の実施	年1回以上	2019.5.24実施	
騒音規制法	* 適用される騒音基準の遵守	エアコンプレッサ 7台	2017.10.16届出	○
振動規制法	* 適用される振動基準の遵守	エアコンプレッサ 7台	2017.10.16届出	○
PRTR法	* 環境省への情報公開の遵守	年1回	2019.5.31届出	○
フロン排出抑制法	* 適用される全ての第一種特定製品の点検・記録・報告・保管の遵守	(業務用の空調機器) 簡易点検: 全て 定期点検: 7.5kW以上	- 2018.3.26実施	○
関連法規	① 家電リサイクル法・パソコンリサイクル法	社有家電、OAパソコンなど	-	○
	② 自動車リサイクル法	社有車	-	
	③ 高圧ガス保安法(CEも含む)	年1回メーカー検査	-	
労働安全衛生法	* トリクレン洗浄時の安全基準の遵守	防具着用	-	○
	* 社員の健康診断の実施	健康診断 (年1回)	2019.9.10・12 実施	
消防法	* 適用される消防基準の遵守	炭化水素洗浄装置 導入時に所轄消防署に届出	1997.12.2届出	○

2. 訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

3. その他の規制

* RoHS規制：製造製品に対して以下6品目の不含有の遵守
不含有確認対象品目
自給銅管材料・自給ストレナ・ロー材
マーキング用ペイントマーカー
※原則的に客先指定図面の支給部品に関しては客先にて確認

カドミウム・六価クロム・水銀・鉛
 ポリブロモビフェニル
 ポリブロモジフェニルエーテル

* REACH規則：自社調達納入資材すべての含有化学物質の客先への情報伝達の遵守

* SDS：化学物質等の安全データシート(トリクレン)の把握とデータ収集

* グリーン購入法 国、独立行政法人及び地方公共団体による環境物品等の調達の推進、情報の提供

VIII.代表者による全体の評価と見直し・指示

活動期間:2019年度(2019年4月～2020年3月まで)

環境管理責任者	検印
渡辺 心一	技術 20.04.25 渡辺

1.環境活動の取組のチェック

項目	チェック	必要に応じて評価・コメントを記入
① エコアクション21文書の作成と保管と整理	<input checked="" type="checkbox"/>	2017年度版に準拠した環境活動レポートの作成。 環境活動の取組・負荷の自己チェック表の作成。 (ガイドライン2017年版に準拠したフォームで作成)
② 環境方針・環境目標及び目標達成状況の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	2017年度版のガイドラインに沿った環境方針・目標を策定した。 2017年度を基準年度とし、環境目標を設定した。
③ 環境活動計画及び取り組み実施状況の確認	<input checked="" type="checkbox"/>	生産途中で発生する銅管の廃棄物について、 各職場ごとに廃棄量を測定し、毎週役職朝会で情報を共有し、 発生原因を突き止める取組を展開している。
④ 教育・訓練の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴミの分別や役職者も率先してアイデアを出し、 社員に環境活動を積極的に推進していた。 環境月間に訓示及び標語を募集。
⑤ 環境関連法規遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	関係省庁への報告や廃棄物・特定化学物質の管理を 徹底して行い、適法遵守に努めた。 浄化槽法11条点検未実施を指摘。
⑥ 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の中・高校生の見学やインターシップを通じ、 事業内容と環境活動の取り組みをPR。
⑦ 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	LPG使用量増加(GHP切り替えが大きな要因)。 是正に取り組むも、改善につながっていない。
⑧ RoSH・REACH規制対応	<input checked="" type="checkbox"/>	客先より要請のある、欧州環境規制に対応。 製品の規制物質の含有確認を実施 ⇒継続中

統括責任者	検印
藤澤 尚朗	社長 20.04.26 藤澤

2.統括責任者による環境経営システムの見直し

項目	見直し	見直し事項等
① 環境方針	有(無)	2019年4月1日に見直し改定。
② 環境目標・計画	有(無)	策定した目標に対し取り組みを続ける。
③ 環境活動計画・取組項目	有(無)	継続して銅管の廃棄量について状況を把握し改善点を模索し、削減活動をしていく。
④ 環境関連法規対応	有(無)	浄化槽法の追加(11条検査の実施)2019年度内未実施。 2020年度からは必ず実施する。
⑤ 実施体制	有(無)	継続して実施する。

全体評価「総括」

今期は猛暑の昨年とは異なり、梅雨の長雨の影響もあり、前年より売り上げは減った。その結果、電気使用量・一般廃棄物・産業廃棄物は削減することができた。しかし、加工部品の数量は増加したため、加工品洗浄用の化学物質トリクロロエチレンの使用量は減らすことが出来ませんでした。全廃を目指すトリクロロエチレンではありますが、現状の加工品の受注状態では当面、困難があり、まずは洗浄作業環境の改善を推進することが不可欠である。
環境経営を進めるためには社員全員の意識改革が必要です。来年から始まる「働き方改革」に向け、更なる「経営改革」を推し進めていきたい。